



学校だより
ながや

令和3年度 第1号
令和3年 4月7日
横浜市立永谷小学校
校長 平野 好子

新年度がスタートしました

校長 平野 好子

新年度がスタートしました。

今年、3月の卒業式の時期に桜が開花し、修了式後が満開となりました。これからは日に日に、新緑の美しい季節へと移っていきます。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大予防のため、学校教育活動において、マスクの着用、手洗い、適切な距離を保つことの徹底を行いながら、密を避け、子どもたちの安心・安全を第一に考え、検討しながら進めてまいりました。そのような中で、縮小した形ではありましたが、学年の枠を超えた縦割りなかよし班や各学級での活動等では、友達との気持ちの「つながり」を大切にした教育活動を進めてまいりました。

今年度も、学校教育目標『自ら考え、人とつながり 未来をつくる永谷の子』の育成を目指していきます。今後も、人との物理的距離は適切に保たねばなりません、それは、心の距離をとらねばならないことではありません。互いを認め合いながら、「人とのつながりを大切にし、相手を想うことのできる子」「自ら考え判断する永谷の子」を育ててまいります。

また、「あいさつ」で人とかわることを大切にしていきます。自分の隣にいる人やクラス友達など多くの人とかわり、相手を大切に想ってほしいと思います。そのためには、相手の話をしっかり聞き、話すことが不可欠となります。あらゆる教育活動の場で、「聞く」ことを大切にしていきます。また、感染症拡大防止の策を十分取った上で、自分の思ったことや考えをしっかりと「話す」ことも大切にしていきます。「伝え合う」ことが、自分も相手も大切にできる永谷の子を育むことにつながります。

新しい学級、新しい担任と出会い、期待に胸をふくらませて新年度をスタートした子どももいれば、期待と同時に不安で心配な気持ちを抱いてスタートする子どもも少なくないということも私たちは忘れてはなりません。一人ひとりに寄り添った指導に取り組んでまいります。

今年度も、感染症の感染拡大状況を受け、計画した永谷小学校の学校教育活動を変更せざるを得ないこともあるかと思えます。「一人ひとりを大切にし、全職員で永谷小学校の子どもを見守り育てる」姿勢を堅持しながら、子どもたちの安心・安全を最優先に考え、教育活動を進めてまいりたいと思います。

保護者の皆様、地域の皆様の変わらぬご支援・ご協力をお願いいたします。